

平成23年度  
私立学校初任者研修 近畿地区研修会  
実施報告概要

近畿地区6府県の本年度初任者研修会は8月17日(水)から18日(木)の2日間、大阪府大阪市の大阪ガーデンパレスで開催され、98名が参加した。

開会式では、近畿私立中学高等学校連合会・平岡正巳会長及び近畿地区初任者研修運営委員会・鶴巻榮二委員長がそれぞれ歓迎の挨拶を行った。

今回の研修会は、3つの講義と2つの体験発表及び分散会・分散会報告で2日間の日程が構成されており、開会式に続く講義1では、同志社大学心理学部・鈴木直人学部長が「私学で教えるとは」と題し、現在の初等中等教育にどのような問題があるのか、そして私学で何故教えるのか、私立学校＝志立学校（志を持つ学校、志によって立つ学校）であることなどについて講義した。



講義2では、「子ども達を取り巻くネット環境の実態とその対応策」と題して、安川雅史Webカウンセリング協会理事長からネット被害の実態と具体的な対応策についての解説等が行われた。

2日目の講義3では、「授業スキルの原理と原則－生徒・保護者との関係力アップのために－」と題し、エデュケーショナルネットワーク・光延栄治学校支援課長が授業の具体的な場面の事例を交えての講義を行った。

また、先輩教師による体験談として、滋賀短期大学附属高等学校・小林昌彦教諭の「進路実現のための生き方指導」及び天理高等学校・大瀬裕教諭の「無縁社会と寮生活」と題する体験発表がなされた。

分散会では、参加者が6グループに分かれ各府県の運営委員の指導助言のもと協議を進めた。分散会は1日目の後半から2日目の午前中まで行われ、2日目の午後には6グループの協議内容について各グループの代表者による発表と指導助言者による感想が分散会報告として語られた。



なお、1日目の分散会終了後、参加者及び運営委員を交えて夕食を兼ねての経験交流会が催され、限られた時間ではあったが初任者にとってはコミュニケーションの場として有意義なひとときとなった。

閉会式では、鶴巻運営委員長による研修会の総括を交えた閉会挨拶の後、参加者代表に修了書が授与され2日間の研修会は終了した。

